

ミカツキグサ

Rhynchospora alba (L.) Vahl

カヤツリグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内では1カ所の自生地が確認されているのみ。(現況:RO)

形態

稈は高さ10~30cm。他のイヌノハナヒゲ類と異なり小穂の鱗片は白色で、瘦果の刺針状花被片は9~15本と数が多い。

国内分布

北海道、本州、九州。

県内分布

白山高地区(白山市白峰地区)。

生態など

多年草。匍枝はなく叢生する。花期は7~10月。

生育環境

白山山系では数少ない高層湿原で、池塘の縁に群生している。

危険要因

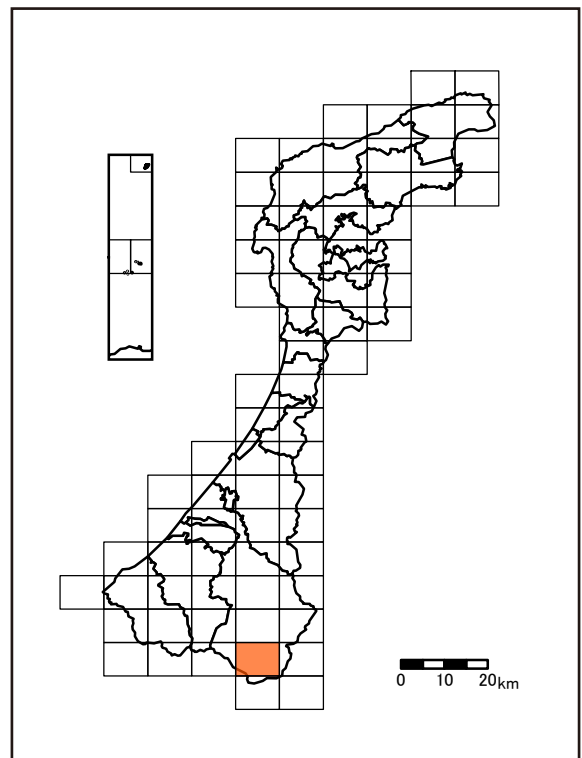
自然遷移、産地局限。

特記事項

自生地は白山国立公園からは外れているが、容易に近寄れない山中にあり良好な状態が保たれている。



白井伸和・2008年7月23日・白山市



県内の分布